

学童野球で



高田商杯全日本学童マクドナルド・トーナメント(東京都大会)では、FTC-1400Aを使った投球数カウントが始まった

大会で、練習試合で導入しよう!!

フィールドフォースの公式HPは
こちらから
[FIELD FORCE](#)
FTC-1400Aは6月
月初旬発売。詳細はフィー
ルドフォースHPから。



少年学童野球を応援する

試合会場では、東京都大
会の場所、ネット裏の両チ
ーム担当者が相手チーム投
手の投球数をカウントして
いる。

大会では、すでに会場の
府中市郷土の森野球場の各
面ネット裏で、チーム関係
者が投球数をカウントし
ている。

大会では、すでに会場の
府中市郷土の森野球場の各
面ネット裏で、チーム関係
者が投球数をカウントし
ている。

「投球数制限」

1球ずつ、数字の書かれた
ボードを手でめぐるアナ
ログ式。卓球やバスケット
ボール、バレーボールな
ど、体育館にある手動投点
板にも似たカウンターは、
ほかでないフィールドフ
ォース製が採用された。
もとより、関東大会に選
り出された「東京都知事杯学
童軟式大会フィールド
フォーストナメント」では、都
は特別協賛社として、都
大会の開催に協力している。
今回、投球数制限ル
ール実施を受け、都軟野連

安定期を重視し設置

シンプルなカウンターだ
が、野球用ならではの工夫
が施されている。まず、支
柱、ボードはともにやや消
しブラックで統一。光の反
射をできる限り抑える方
向に赤い数字カードは白地に
赤の文字。現場での運
用を考え、バーツを分解
し、小さなバックに収納可
能な仕様につけ、高さを調
節できる限り抑える形にした。
脚を支柱につけて、高さを調

節した支柱の上部に、長方
形のカウントボードを取り
付けるだけだ。脚は接地面
に曲げてあり、スチール製の
カントリーポッドはズッシリ
と重い。いずれも河川敷など
の強風も考慮された学童用
の選手育成や、チームづく
りにも大きな変化をもたらす
であろう。投球数制限ル
ール。投球カウンターも

野球の現場を想定し、
選手を第一に考えた仕様とな
っている。ポードの高さは、
椅子に座ってのオペレ
ートを前提としているが、
もちろん立っての操作も可
能ない。

試合における選手起用だ
けではなく、普段の練習で
の選手育成や、チームづく
りにも大きな変化をもたらす
であろう。投球数制限ル
ール。投球カウンターも

「あって当然」の用具にな
つていいだろう。

しかし、学童野球には大き
なルール変更が広がりつ
ある。投手の球数制限
だ。フィールドフォース(東
京都足立区)では、同ル
ル適用の流れを受け、試合
で使える投球カウンターを開
発した。担当者が手で操
作するアナログ仕様。都大
会でも採用される。公式
カウンターを連盟、チー
ムにいかが?

「これ」学童野球の現場
で、どうでもいいのが
「球数限界」ルール導入に
開発する。8月の「高
崎馬鹿杯全日本学童軟式野球
大会マクドナルドトーナ
メント」での採用がいち早
く決まったことにより、都
道府県、市区町村のレベル
まで、多くの大会で採用が
開始される。東京都では、全日本軟式
野球連盟の発表を受け、都
軟式野球連盟が即座に、都
大会において、球数制限
ルール導入を決断した。
東京都では、全日本軟式
野球連盟の発表を受け、都
軟式野球連盟が即座に、都
大会において、球数制限
ルール導入を決断した。
これまで、その適用は増え
続けるはずで、いずれはあ
らゆる大会で採用が
始まっている。
「今までなく、球数制
限は学童投手を。野球時
から守るためにルール。来
年以降も、その適用は増え
続けるはずで、いずれはあ
らゆる大会で採用が
始まっている。



FIELD FORCE 検索
お問い合わせ 03-6404-8555



バーツは3本の脚、
2分割できる支柱、
投球カウンターの6
つ。専用バッグに
コンパクトに收
納し、持ち運
び可能だ

■投球カウンター FTC-1400A
○サイズ 約80cm×奥行約70cm×高さ
約100~140cm ○重量 約4.1kg ○材質
スチール ○付属品 専用収納バッグ
○価格 7000円(税抜き)